

たかそう 連携だより

地域の先生方と
高崎総合医療センターを結ぶ

2025年発行
第224号
9月号

糖尿病療養支援チームの活動について … 2

内分泌・代謝内科部長 渋谷 信行

永年勤続者表彰式が開催されました … 3

市民公開講座のおしらせ … 4

医療事務室 入院係長 吉田 裕貴

緩和ケアニュース … 5

リハビリテーション室だより … 6

栄養だより … 7

緩和ケア研修会のご案内 … 8

医師紹介コーナー … 9

地域医療連携登録医のご紹介 … 10～11

セカンドオピニオンのご案内 … 12～13

外来診療担当表 … 14～15

院長閑話 … 16

鼻高
展望花の丘

提供：患者サポートセンター 松井 小百合

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36

代表 (TEL) 027-322-5901

URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)

(TEL) 027-322-5835

(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切に、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

糖尿病療養支援チーム

の活動について

内分泌・代謝内科部長 渋谷 信行



糖尿病療養支援チームは、糖尿病患者さんの療養を多職種で支援するための活動を行っています。病気の進行や合併症の重症化を予防して患者さんが糖尿病と共に生きるためのサポートを行います。

私たちは2018年5月より糖尿病教室ワーキンググループとして活動を開始しました。看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、ソーシャルワーカー、内分泌・代謝内科医師、歯科口腔外科医師等がメンバーとなり、糖尿病教育入院における糖尿病教室を主催しています。今年で8年目となり教室開催は第170期目を迎えました。教室では病気についての理解を深め、これからの療養生活に必要な情報を提供します。糖尿病についてお互いの体験を話すこともでき、参加者には概ね好評をいただいています。

糖尿病療養に携わるスタッフの育成にも取り組んでいます。チーム内で勉強会を行い、教室講義をお互いに評価します。活動の成果として、当院から初の糖尿病看護認定看護師が誕生しました。日本糖尿病療養指導士CDEJ資格取得者も毎年増えています。“患者さんに寄り添い、ともに学ぶ。”この姿勢を今後も持ち続けていきたいと思っています。

糖尿病療養支援チーム活動の発展型として以下の専門外来を開設しました。

■ 糖尿病性腎症透析予防外来（隔週金曜日午後）

糖尿病治療中で糖尿病性腎症2期以上の患者さんが対象。5回を目安に治療と療養指導を行います。

■ 減量・代謝改善外来（隔週水曜日午後）

BMI 27kg/m²以上で糖尿病や脂質異常症、高血圧など、2つ以上の肥満に関連する健康障害を持ち、かつ6か月以上の食事栄養療法など減量に積極的に取り組む意欲のある患者さんが対象。減量導入のための入院も効果的です。

■ 糖尿病足の外来（月1回木曜日午後）

糖尿病足病変があり療養指導が必要な患者さんを対象に糖尿病看護認定看護師が中心となってフットケアを行います。

糖尿病やその関連疾患患者さんのニーズにきめ細かく応えられるように療養支援の体制を充実させていきたいと考えています。

昨年11月14日
世界糖尿病日の
広報イベント
「血糖値を測ってみよう」。
今年も予定しています。



永年勤続者表彰式

が開催されました



30年をむかえて

教員 小泉 知里

皆さんは、この病院の玄関前に池があり鯉がいたことを知っていますか？

1Fには‘ラグタイム’という喫茶店があり、そこのバナナジュースはとても美味しかったのを覚えています。まだナースキャップ、ワンピース白衣時代に就職。新人の頃は、朝の検温後には大きなやかんを持って食前の配茶の為部屋を回り、お味噌汁は看護師が食缶からお椀に入れ配膳、朝の申し送りまでに積み上げた紙カルテの記録を終わらせる時間との戦いにいつもハラハラしたものです。今では、お茶も食事も適温状態で配膳。カルテはPC入力。時代が変わりハード面は進化していますが、変わっていないのが“看護の心”だと思っています。

患者サポートセンター 長島 春香

この度は素晴らしい銀杯を頂き、身の引き締まる思いです。これも偏に、温かいご縁をいただいた患者さん、ご家族、そして何よりも、共に歩み、支えてくださった多くの方々との出会いがあったからこそと、心から感謝しています。看護師として経験した嬉しいことも、時には大変だったことも、その全てが今の私を形作る、かけがえのない宝物です。初心を胸に、一つ一つ、丁寧に取り組んでいきますので、これからもよろしくお願いします。

市民公開講座

のおしらせ

医療事務室 入院係長 吉田 裕貴

地域の方々に向けた、当院の医療従事者による「がん」に関する説明や講義を主に行う「市民公開講座」も今回の開催で節目の30回を迎えることになりました。

これまでは「がん」をテーマに予防策や診断後の手術、薬物療法、放射線治療などで、どのように患者さんをサポートしていくか、また、当院の各メディカルスタッフがどのように患者さんに関わっているかなどについて講演をして参りました。



今回も「がん」をテーマにすることに変わりありませんが、患者さん個人にのみ知っていただきたい内容ではなく、「遺伝と遺伝子」という、患者さんのご家族にも関わりがある話という点で、今までの「市民公開講座」とは異なる内容となっております。

「がん」、「遺伝と遺伝子」と聞いて、皆様はどのような印象を持たれるでしょうか。テレビや雑誌などで「遺伝子検査」や「がんゲノム」などの言葉を聞いたことはあるが、実際何をしているか・何をすればよいか分からないという方が多いと思います。

また、家族が「がん」になってしまった場合、私も「がん」になるのではないかなどの不安な気

持ちが先行される方もいらっしゃるのではないのでしょうか。遺伝性の「がん」にならないために何か出来ることはないか？など、一般的に多くいただくご質問に対しても演者から発表する予定です。

基礎的な話から、乳腺・内分泌外科の医師による「乳がん」にまつわる「遺伝と遺伝子」の関係性や当院での対応についても講演する予定であり、質疑応答のお時間もございます。

今回の講演にご参加いただく方が、「がん」や「遺伝と遺伝子」をより身近なものとして認識できるよう、そして講演の内容を身近な方に伝えられるような、分かりやすい講演とする予定です。

ご参加にあたり、ご予約の必要はございませんので、市民の皆様におかれましては、老若男女問わず奮ってのご参加をお待ちしております。

独立行政法人 国立病院機構 高崎総合医療センター

第30回 市民公開講座

テーマ
がんの診療における
「**遺伝**」と
「**遺伝子**」

参加無料(予約必要) 定員200名

※座席予約はできません。感染症対策のため座席指定する場合があります。万が一、定員を超えらる場合は、先着順となります。ご了承ください。

令和7年
10月19日[日]
開演時間 12:00より受付(12:30開演)

高崎市総合福祉センター
たまごホール 群馬県高崎市東区町115-1
お車で
お越し
の方へ
当施設を利用された方は無料になります。但し、駐車券の返却が必要です。駐車券を必ずたまごホールの駐車場から引き取ります。

お問合せ
窓口
お問合せは下記日程の10時～17時にお願いたします。
令和7年9月8日(月)～10月17日(金)(土・日・祝日はお休みとなります)
TEL:027-212-0111(高崎総合医療センター市民公開講座事務局)

当日のプログラム
(13:00～15:00(終演予定))

高崎総合医療センター	座長 臨床研究部長 柿崎 隆(かきざき たか)
開講の挨拶	院長 小川 哲史(おがわ ていし)
①がんと遺伝の基礎知識 ～知っておきたい大切なこと～	内科系診療部長 長沼 篤(ながぬま あつし)
②遺伝性腫瘍とは? 遺伝性腫瘍のがんは遺伝するの?	総括診療部長 遺伝性腫瘍専門医 伊藤 郁朗(いとう いくろう)
休憩	
③乳がんにまつわる 遺伝と遺伝子について	副院長 鎌瀬 幸生(かみせ ゆきお)
④遺伝カウンセリングにおける 看護師の役割	看護課 遺伝性腫瘍コーディネーター 櫻井 史子(さくらい ふみこ)
開講の挨拶	副院長 鎌瀬 幸生(かみせ ゆきお)

主催
独立行政法人 国立病院機構
高崎総合医療センター
がん診療連携拠点病院[22.3指定]

①がん診療連携拠点病院に指定されています。
②がん診療について、診療ガイドラインに基づき最新の診療を提供します。
③がん診療について、診療ガイドラインに基づき最新の診療を提供します。
④がん診療について、診療ガイドラインに基づき最新の診療を提供します。
⑤がん診療について、診療ガイドラインに基づき最新の診療を提供します。

緩和ケア ニュース

がんとリハビリを知ろう！

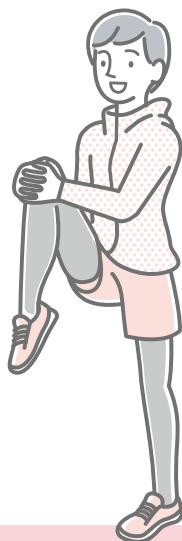
～治療前から退院後まで動く力を育てる～



手術前

手術の前から始める 心と身体の準備

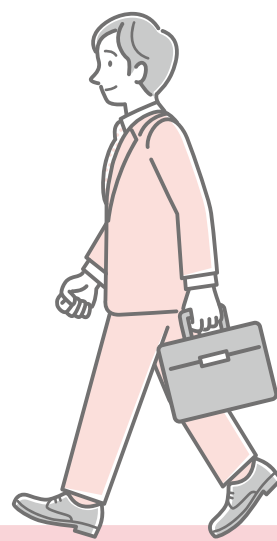
- やや早歩き＋軽い筋トレで体力づくり
- 深呼吸を繰り返して肺を強く
- たんぱく質を十分に摂取



治療中

「少しずつ・こまめに」 がコツ！

- まずは軽いストレッチから始める
- 息が弾むけれど会話できる程度の運動負荷
- 体調がよい時間にウォーキング



治療後

日常と仕事への 復帰を支える！

- 疲れやすい時は「休む→動く」を小さく繰り返す
- 動くことで心も身体もリフレッシュ
- 家事や趣味をリハビリに組み込む

**無理せずに、専門家に相談しながら自分のペースで
日常を取り戻しましょう！**

動くことがあなたのがんと生きる力を支えます。



リハビリテーション室 だより

言語聴覚士ってご存じですか？

「リハビリ」と聞くと多くの人は理学療法士が行う歩く練習や筋トレなどを思い浮かべる人が多いかと思います。言語聴覚士は、『食べる』『話す・聞く』『考える』という、生活に不可欠な機能を助ける専門職です。最近ではNHKの朝の連続テレビ小説「おむすび」で認知した方もいらっしゃるのではないのでしょうか。当院では様々な病気で飲み込みやコミュニケーション、注意力・記憶力に障害をもつ方々を対象に評価・訓練・助言を行い、日常生活の質を高める支援を行っています。今回のリハビリテーション室だよりでは、言語聴覚士の仕事について紹介したいと思います。

1、飲み込みの支援

「むせる」「食べこぼす」などの症状には、
●舌や喉の筋肉を鍛える体操・飲み込みやすい姿勢や食べ物の形を調整
といった訓練や助言を行い、安全に食事が出来るように支援を行います。

2、コミュニケーションの支援

話すこと、聞くことが難しい人には、
●絵カードや文字カードを使用し「伝える力」を取り戻す言語訓練
●声の大きさや滑舌を良くする発声訓練

を通して日常会話や社会生活が続けられるように手助けを行います。

3、考える力の支援

覚える力や集中力が低下した方には、
●パズル、積み木、間違い探し、計算課題、日付の確認などの脳トレ
を行い家庭生活や社会復帰を見据えた支援を行います。

4、当院での言語聴覚士の役割

当院に在籍する言語聴覚士は4人ですが、少数精鋭で日々協力・連携しながら入院された患者さんの生活を支えるリハビリを行っています。また医師や歯科医師、看護師、栄養士などの他部門と協力し1日でも早く入院前の生活を取り戻す手助けを行っています。言語聴覚士は評価・訓練・助言を通じて、「飲み込めない」「話せない」「覚えられない」といった障害を乗り越え、『その人らしい“暮らし”を支える』大切な役割を担っています。今後も入院された患者さんにより良いリハビリテーションを提供できるように、リハビリ職員一同頑張っていきたいと思っています。

栄養だより

食生活改善普及運動

厚生労働省では、毎年9月1日～9月30日の1ヶ月間を「食生活改善普及運動」の期間と定めています。

令和7年度では、「まずは毎日、あと一皿ずつ野菜と果物をプラス」を重点テーマとし、「バランスの良い食事を摂っている者の増加」、「野菜摂取量の増加」、「果物摂取量の増加」、「食塩摂取量の減少」に向けた取り組みについて全国的に展開しています。普段の食生活を振り返り、意識して過ごしてみましょう。



1 バランスの良い食事

毎食の食事に主食、主菜、副菜を組み合わせることで栄養バランスが取りやすくなります。

主食 ご飯、パン、麺類などの穀類（炭水化物を多く含む）

主菜 魚、肉、卵、大豆製品（たんぱく質や脂質を多く含む）

副菜 野菜、海藻、きのこなど（ビタミン、ミネラル、食物繊維を多く含む）

2 毎日プラス1皿の野菜

野菜は低エネルギーでビタミン、ミネラル（カルシウム、カリウム、鉄分など）、食物繊維が豊富で、生活習慣病の予防に有効です。大人が1日に必要な野菜は350gです。日本人の平均摂取量は350gに達していません。もう1皿分野菜を取り入れてみましょう。

3 毎日のくらしに果物を

果物はビタミン、ミネラル、食物繊維などが豊富ですが、糖質も多く含まれるため、摂りすぎに注意して普段の食事に取り入れましょう。片手に乗る量が1日の目安になります。

4 おいしく減塩1日マイナス2g

食塩の摂り過ぎは、高血圧や心臓病、脳卒中などの原因になります。出汁や柑橘類、香辛料等を上手に使い、素材の味を生かしましょう。外食や持ち帰り弁当・惣菜を利用するときは栄養成分表示の食塩相当量の表示を確認し、現在の摂取量からマイナス2gを目標にしましょう。

高崎総合医療センター

緩和ケア研修会

——— がん診療に携わる

医師・歯科医・医療従事者の方に ———

主 催： 高崎総合医療センター

日 時： 2025 年 12 月 6 日(土)
9:00～17:30(予定)

場 所： 高崎総合医療センター 2 階大会議室

募集人数： 30 名程度

参 加 費： 無料(昼食は各自ご持参ください)

内 容： 講義、ワークショップ、ロールプレイ

申込方法： 当院のホームページ上の参加申込書に記入の上、
e-learning 修了証を添えて、FAX:027-327-1826 まで

募集締切： 2025 年 10 月 31 日(金)



※詳細は高崎総合医療センターのホームページ
(https://takasaki.hosp.go.jp/shinryoka_cat/s_kanwairyo_c.html)
をご覧ください。右上の QR コードからでもアクセスできます。

医師紹介

当センターの医師を紹介します。



脳神経内科

さとう せいや
佐藤 星矢

2025年4月から高崎総合医療センター脳神経内科で勤務させていただいております、佐藤星矢と申します。群馬県太田市出身で群馬大学医学部卒業後、伊勢崎市民病院で2年間の初期研修を行い、群馬大学脳神経内科へ入局いたしました。当院での勤務ははじめてとなりますが地域との連携が整っている病院であると感じております。

脳神経内科では脳梗塞、てんかん、認知症といった多くの人が知っているような病気からParkinson病などの変性疾患や自己免疫疾患とあまりなじみのない病気まで幅広い疾患の診療をさせていただいております。同じ病気でも症状は多彩であり、なかなか診断に至らない疾患や病気の理解が難しい疾患が多い診療科です。そのため検査も多くなってしまう、何度も足を運んでいただかなければならないことも多いですが患者さんへ寄り添い診断、治療へつなげられるよう日々研鑽を重ねて参る所存です。

至らない点多々あるかと存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



脳神経外科

つねおか はるか
常岡 明加

2025年4月から高崎総合医療センター脳神経外科に赴任いたしました、常岡明加と申します。群馬大学医学部を卒業後、群馬大学にて初期研修を行い、群馬大学脳神経外科に入局しました。現在、医師として11年目となります。脳神経外科学会専門医、日本脳血管内治療学会専門医を取得し、脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷など、脳外科全般の診療に携わっております。

当院脳神経外科医師は現在4名で、夜間休日でも緊急対応が可能な体制となっています。特に緊急で手術が必要な脳梗塞やくも膜下出血に関しては、脳血管内(カテーテル)治療の専門医が二名在籍しており、迅速に質の高い医療が提供できるよう努めております。

脳神経外科疾患は、患者さんご家族の人生を大きく左右する可能性があります。後悔なく、納得した状態で最善の治療を受けていただけるよう、適切な情報提供や安全・丁寧な診療を心がけております。

近隣の医療機関とも連携し、地域に根差した医療サービスを提供できるよう精進して参りますので、よろしくお願い致します。

地域医療連携登録医 のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

じゅん内科

院長あいさつ

皆様に愛される診療所、深い診療連携に支えられた一般内科、糖尿病専門を生かしたチーム医療を目標に日々の診療にあたっています。

気軽に話ができて、わからないことを質問できる、そんな“安心”をお持ち帰りいただけるじゅん内科でありたいと思っています。



ホームページ
QRコード



じゅん内科
院長

安部 純

診療科・病院案内

内科・糖尿病内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 (8:30~12:00)	安部	安部		安部	安部	池内 第1・3・5土曜 安部 第2・4土曜	
午後 (14:30~17:30)	池内 第1・3・5月曜 安部 第2・4月曜	都野		池内	田部井		

群馬県高崎市井出町1548-5 TEL: 027-388-0477

現在は院長に加え3名の専門性の高い医師の4名体制で診療を行っています。
気になること、心配なことがあればお気軽にご来院下さい。
時間帯によっては予約制となる場合がありますのでご来院前にはお電話をお願いします。

わたなべ小児科

院長あいさつ

長年父親が守ってきた「渡辺小児科医院」の志を受け継ぎ、2023年9月に「わたなべ小児科」として改めて開業させていただきました。

主にお子様の心身の健康に関わることなどを通じて、皆様のいろいろな心配事に真摯に向き合っていければと考えております。



ホームページ
QRコード

わたなべ小児科
院長

渡邊 健一

診療科・病院案内

小児科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:50~13:30)	●	●	●		●	●	
午後(15:50~18:30)	●	●	●		●	●	

※診察、予防接種、乳児健診については予約サイトで詳細確認をしてください。

群馬県高崎市昭和町182-3 TEL: 027-386-3878

地域のかかりつけ医として、お子様の病気はもちろん、保護者の不安や心配事、予防接種、乳児健診、育児相談などに幅広く対応できるよう努めて参ります。まずは何でもお気軽にご相談ください。

できるだけ多くの患者さんと向き合えるよう2診体制の日も設けております。詳しくはホームページの診療カレンダーをご参照ください。

細谷透析クリニック

院長あいさつ

当クリニックでは、治療のため長い時間を過ごされる患者さんの気持ちを考え「透析医療の質」のみならず、患者さんのライフスタイルを考えた QOL（生活の質）の向上をコンセプトにし、心地よい透析医療を提供できるよう考えています。

透析患者さんのご自宅への送迎、グループ内の有料老人ホームに入居しての透析等、介護と医療の連携にも力を入れております。

細谷透析クリニック

院長

丸田 栄



診療科・病院案内

内科・腎臓内科・外科

外来は予約制

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(8:30~12:30)	●	●	●	●	●	●	△
午後(12:30~17:30)	●	●	●	●	●	●	△

※透析室回診や緊急対応時は受診時間の変更をお願いする場合がございます。

群馬県富岡市富岡2653-1

TEL: 0274-89-1007

- 透析ベッド数: 61床
- オンラインHDF対応
- 院内完全バリアフリー

- Wi-Fiによるインターネット接続
- 各ベッドアーム式テレビ
- 停電時透析可(非常用発電機完備)

- 管理栄養士による栄養指導・栄養相談

みんなの前橋クリニック

院長あいさつ

「住み慣れた家で療養したい」「通院が難しい」… そんなお悩みをお持ちではありませんか？

当院では年齢や病状に関わらず、どなたでもご利用いただける在宅医療を提供しています。医師がご自宅へお伺いし、病院と同じような診療を提供していますので、安心してご相談ください。



みんなの前橋クリニック

院長

和田 元



診療科・病院案内

内科・精神科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:00)	●	●	●	●	●	△	△
午後(13:00~18:00)	●	●	●	●	●	△	△

群馬県前橋市下石倉町24-5

TEL: 027-225-2264

24時間365日対応の訪問診療で、重いご病気や通院困難な方も安心してご利用いただけます。

訪問看護様・訪問薬局様など多業種の方と連携して在宅療養をお支えます。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

01 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

02 実施診療科

【各科の専門医が対応いたします】

内科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、
外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、
脳神経外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、放射線診断科、
放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し
当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）
月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

概ね30分 11,000円（消費税込み）

※2025年6月1日から

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。

医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科 名	医師名	専 門	曜 日
内 科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
呼 吸 器 内 科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消 化 器 内 科	長沼 篤 増田 智之	消化器病一般、肝臓病 食道、胃、大腸	随時
心 臓 血 管 内 科	広井 知歳 太田 昌樹 福田 延昭	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療） 不整脈一般 心不全、弁膜症	金 水 木
外 科	坂元 一郎 冢田 敬輔 平井 圭太郎 宮前 洋平	消化器外科全般 上部消化管 肝臓、胆のう、膵臓 下部消化管	水 水 水 水
乳 腺・内 分 泌 外 科	鯉淵 幸生 高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科 乳がん全般・甲状腺外科	随時 随時
心 臓 血 管 外 科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼 吸 器 外 科	伊部 崇史 高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般 肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木 火
脳 神 経 外 科	田中 志岳 佐藤 晃之	脳腫瘍 血管障害	月 金
産 婦 人 科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌 尿 器 科	柴田 康博	泌尿器科全般	火
眼 科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放 射 線 診 断 科	根岸 幾 佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心 画像診断CT・MR中心	木 火
放 射 線 治 療 科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯 科 口 腔 外 科	稲川 元明 柴野 正康	口腔顔面痛 口腔外科全般、顎変形症、インプラント	火、水、木、金 月、火、木、金

2025年4月1日現在

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正 通	佐藤 正 通 予約のみ	佐藤 正 通 午後 (田村 耕 成)	佐藤 正 通 午後 (合田 史 史)	佐藤 正 通
栄養食事指導外来		佐藤 正 通 午後			
腎臓・膠原病リウマチ内科	<交代制> 午前：新患	伍井 友 哉 第2, 4週午前 星野 晶 子 第1, 3, 5週午前 中里見 征 央 午後	渡辺 光 治 午前	伍井 友 哉 午前 渡辺 光 治 午後	中里見 征 央 午前
血液内科	(三井 健 揮) 午後				
内分泌代謝内科	渋沢 信 行	戸塚 淳 (植原 正 也)	植原 良 太 午前 戸塚 淳	渋沢 信 行 午後	渋沢 信 行 植原 良 太
脳神経内科	平柳 公 利 清水 千 聖	平柳 公 利	清水 千 聖 佐藤 星 矢	柴田 真	木部 朱 理
呼吸器内科	中川 純 一 根生 明 李 午前	細野 達 也 倉島 優理亜 午前	小林 頂 (田口 浩 平)	中川 純 一 若松 郁 夫	細野 達 也 小林 夏 緒
消化器内科	長沼 篤 午前 安岡 秀 敏 午前 上原 早 苗 午前 成清 弘 明 午前 (石原 弘) 午後	星野 崇 午前 鈴木 悠 平 午前 佐野 希 望 午前 成清 弘 明 午前	柿崎 暁 午前 安岡 秀 敏 午前 増田 智 之 午前 井戸 健 太 午前 (石原 弘) 午後	長沼 篤 午前 増田 智 之 午前 鈴木 悠 平 午前 齋藤 董 午前	上原 早 苗 (紹介のみ) 佐野 希 望 午前 書上 愛 午前 田中 琴 午前
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 書上	安岡 / 増田 / 齋藤	上原 / 佐野 / 成清	上原 / 佐野 / 成清	長沼 / 鈴木 / 井戸
心臓血管内科 (午前)	太田 昌 樹 村 智 行	高橋 伸 弥 大駒 直 也	広井 知 歳 羽鳥 直 樹	福田 延 昭	小林 紘 生 柴田 悟
新患外来(午前)	高橋 伸 弥	柴田 悟	村 智 行	羽鳥 直 樹	大駒 直 也
不整脈外来(午後)	太田 昌 樹		太田 昌 樹		小林 紘 生
心不全総合外来(午後)		高橋 伸 弥			
ペースメーカー外来(午後)					太田 昌 樹 第2, 4週
精神科	山崎 雄 高 午前	山崎 雄 高 午前	山崎 雄 高 午前	山崎 雄 高 午前 (井田 逸 朗)	山崎 雄 高 午前
小児科	五十嵐 恒 雄 午前 新井 修 平 午後 溝口 史 剛 山下 真沙美 午前	五十嵐 恒 雄 午後 倉田 加奈子 午前 溝口 史 剛 新井 修 平 午後 田口 未 奈 第1, 2, 3, 5週午後 前原 利 勝 午前	五十嵐 恒 雄 午前 倉田 加奈子 午後 佐藤 幸 一 郎 午後 尾形 詩 音 第1, 3, 5週午後 (滝沢 琢 己) 第2, 4週午後 <乳児健診> 午前	小笠原 聡 午前 倉田 加奈子 午後 野村 美 緒 第1, 3, 5週午後 佐藤 幸 一 郎 第2, 4週午後 春日 夏 那 子 午前 八木 龍 介 午後	五十嵐 恒 雄 午後 小笠原 聡 午前 佐藤 幸 一 郎 第2, 4週 八木 久 子 第2, 4週 (浅見 雄 司) 第3週午後のみ
小児外科	(西明・高澤慎也) 第1, 3週午後	(西明・高澤慎也) 第4週午後			
外科 (消化器)	坂元 一 郎 午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来 鈴木 雅 貴	小川 哲 史 午前 真木 茂 雄 小川 哲 史 午後	家田 敬 輔 午前：通常 / 午後：上部消化管専門外来 大曾根 勝 也	平井 圭 太郎 午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来 新井 萌 々 花	宮前 洋 平 午前：通常 / 午後：下部消化管専門外来 内藤 稜 山
栄養サポート外来		小川 哲 史 午前			
禁煙外来		小川 哲 史 午後			
ストーマ外来			第2, 4週午後・予約	予約	
泌尿器科	井上 雅 晴 栗原 聰 太 裕 大 屋 午後	柴田 康 博 栗原 聰 太 裕 大 屋 午後	交代制	柴田 康 博 井上 雅 晴	交代制

01 外来診療受付時間

8:30~11:00まで

(予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでいるお薬をご持参ください。

02 休診日

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示もしくはこちらの二次元コードよりご確認ください。



地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

令和7年8月7日現在

	月	火	水	木	金
疼痛緩和内科 看護外来	午前・午後	田中俊行 午前・午後	田中俊行 午前・午後	田中俊行 午前・午後	田中俊行 午前・午後
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 午前 成澤瑛理子 午前 本田周子 午前 <手術日>	鯉淵幸生 午前 高他大輔 午前 成澤瑛理子 午前 本田周子 午前 <手術日>	鯉淵幸生 午前 高他大輔 午前 本田周子 午前 <手術日>	(中澤祐子) 午後 交代制 午前・予約 <手術日>	高他大輔 午前 成澤瑛理子 第2,4週 午前 本田周子 第1,3,5週 午前 <手術日>
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後	<手術日>	小谷野哲也 午前 羽鳥恭平 午前	茂原淳 午前
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 第1,3週午前・第5週午前・午後 高坂貴行 第2,4週 牛久保陸生 午後	<手術日>	伊部崇史 午前 高坂貴行 午後 牛久保陸生 午後	<手術日>
整形外科	荒毅 信太晃祐 茂木智彦	大澤敏久 大島淳文 清水大雅 午前	荒毅 信太晃祐 一ノ瀬剛 清水大雅 午前	新井厚 午後 茂木智彦 <手術日>	大澤敏久 一ノ瀬剛 大島淳文
骨粗鬆症外来		新井厚 午後			
形成外科	交代制 午後 <手術日>	正田晃基 都丸奈々 午後	正田晃基 第1,5週午前・第2,3,4週午後 都丸奈々 第2,3,4週午前・第1,5週午後 福島日菜子 午後	都丸奈々 午前 福島日菜子 午後 <手術日>	正田晃基 午前 <手術日> 午後
脳神経外科	田中志岳	連携枠 午前	<手術日>	常岡明加	佐藤晃之
皮膚科	交代制	岡田悦子 中島理子	岡田悦子 周藤貴之	中島理子 (井上千鶴) 午前	岡田悦子 周藤貴之
産婦人科	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 高本悠介	<産後健診> (井上直紀) 午前	太田康裕 (金井眞理) 午前	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
遺伝性腫瘍外来				伊藤郁朗	
眼科	土屋明 紹介・予約	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻咽喉科頭頸部外科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史
放射線治療科	永島潤 田村翠	永島潤 田村翠	永島潤 田村翠 (堀込瑛介) 午前	永島潤 田村翠	永島潤 田村翠 (井上徹朗) 午前
歯科口腔外科	柴野正康 田中斉 田中斉	<手術日>	柴野正康 田中斉 柴野正康	柴野正康 田中斉 田中斉 午後 田中斉 午前	<手術日>
新患外来					
歯科（歯科麻酔） 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1,3,5週のみ (倉持真理子)	稲川元明 (倉持真理子) (荒井亮・辻野啓一郎) 第2,4週のみ	稲川元明 (倉持真理子)	稲川元明	稲川元明 (倉持真理子)

() の医師は非常勤です。

03 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30～11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00～15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。（予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。）

04 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30～18:30 / 土曜日 8:30～17:15》
FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

院長閑話

vol.51

長崎における白と黒の歴史

院長 小川 哲史



先月、学会で何十年ぶりに長崎に行きました。長崎というとすぐに司馬遼太郎氏の2冊の本、「胡蝶の夢」と街道をゆくシリーズの「島原・天草の諸道」が思い浮かびます。

「胡蝶の夢」は、幕末から明治維新の激動期における、医師の松本良順を中心として医学、医療界を描いた小説です。そのなかで長崎海軍伝習所内の長崎療生所を創設し、初めて系統的な西洋医学を教えたオランダ医師ヨハネス・ボンペ・ファン・メーデルフォールト（ボンペ）が大きく取り上げられています。ボンペは当時流行していたコレラや梅毒患者を身分や貧富にかかわらず平等に治療するなど、身分制度が厳しかった時代の医師たちの常識を根本から覆しました。また弟子たちに対する教え、心得として次のように話していたそうです。「医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のものではなく、病める人のものである。もしそれを好まぬなら、他の職業を選ぶがよい」すごいですね。感動します。この教えは今も長崎大学医学部に医戒として残されているそうです。このような慈愛と平等の精神、高い職業倫理感を持った医師が、日本の西洋医学の黎明期に来日し教鞭をとり診療も行ったことは、日本にとってこの上ない幸運だったと思います。

ボンペは、日本に5年間滞在しました。後年、日本での生活を振り返って「夢のようであった」と回想しています。教え子である松本良順ら日本の医師たちはもちろん、ボンペ自身にとっても長崎での日々はまさに「胡蝶の夢」で、夢と現実の区別がつかないような素晴らしく充実した毎日だったのでしょう。ボンペとその弟子たちが果たした歴史的な業績は「白歴史」としてもっと世間に知られるべきだと思います。

一方、「島原・天草の諸道」には暗い「黒歴史」としての島原の乱が書かれています。ご存じのように島原の乱は江戸時代初期に長崎県の島原・天草地方で起こった、キリスト教徒を主体とした幕府に対する大規模な武力反乱です。幕府にとっては、島原の乱を「切支丹一揆」としたほうが都合が良かったため世の中にはそのように広められましたが、司馬氏は、この乱は切支丹弾圧に対する宗教的な反乱ではなく、圧政に耐えかねた農民一揆であったとしています。

まず、本の書き出しが「日本史のなかで、松倉重政という人物ほど忌むべき存在はすくない」で始まります。松倉重政は関ヶ原の戦い後に島原半島の領主になり、次々に悪政を敷きます。まず分不相応な巨城を建築し「この費用をひねり出すために、農民を搾りころすほどの勢いで搾った」、また江戸城の普請の際には、実際の石高は4万石にもかかわらず十萬石の賦役を懇願し、そのためさらに領民から搾り取る。また重政の子、勝家は「自分の放埒な奢侈のために鍋底をやぶり、税をかさねにかさね」、そして年貢を納められない農民や改宗を拒んだ切支丹に対しては「人智でもって考えられるかぎりの残忍な方法を次々に案出して、人をころしはじめた。」作品中には具体的な拷問や処刑の方法が書かれていますが、その残忍さはとても読むに堪えず、ここに引用するのも憚られるほどです。

「領民として一揆に立ちあがるのが、当然であった。生存権をまもるという段階は通りすぎていて、もはや早くこの世を去るために結束するという絶望的なところに追いこまれていた。島原ノ乱の民衆蜂起の動因は、切支丹の要素は第二次的であったといっている」。そしてついに蜂起し、天草の一揆衆と合流し原城に立て籠もります。籠城した人数は約3万人で、その半分为女、子供だったといえます。そこへ12万の正規の軍隊である幕府軍が押し寄せ、ひとり残さず皆殺し、戦場は凄惨を極めたといえます。原城で惨殺された人たちは「徳川政治史上、最大の極悪人とされ、その時代、たれにも弔われることはなく」、また現在に至るまで殉教者として認定されず、その死が教会によって飾られることもありません…。

日本の歴史は、他国の歴史と比べ残忍なことが少ないと言われています。しかし、権力者が罪のない人をいたぶり、なぶり殺し、そして極悪人に仕立て上げることほど悲しくおぞましいことはありませんね…。

(8月14日)

Information

行事などのお知らせ

第58回地域連携症例検討会

呼吸器内科・呼吸器外科領域疾患の
診断と治療の連携

日時：2025年9月26日(金)
18:45～20:00

演者：高崎総合医療センター

呼吸器科部長 中川 純一

呼吸器外科部長 伊部 崇史

対象：医療従事者

高崎総合医療センターよりWEB配信

※申し込み必要

第153回カンサーボード

日時：2025年9月25日(木)
18:00～

診療科：外科

会場：高崎総合医療センター 講堂

対象：医療従事者

※申し込み不要

高崎総合医療センター案内図



登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 027-322-5835 (医療機関専用ダイヤル)

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます

<https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html>

検索



Facebook



Instagram



独立行政法人国立病院機構

高崎総合医療センター